

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 生活科 】

<p>書名 項目</p>	<p>新しい生活</p>		<p>2 東書</p>
<p>内容</p>	<p>＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・全ての単元扉が見開き構成になっており、具体的な活動や体験への意欲が引き出せるよう、児童の活動場面がダイナミックで表情豊かな写真や挿絵で表現されている。 ・目指すゴールをイメージしながら学習ができるように、児童が生活科の「見方・考え方」を生かしている姿を具体的にイラストで例示している。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・言語活動を通して気付きを関連付けたり、視点を変えて捉え直したりするなど、児童の気付きの質が高まる姿が、「学びをふかめる」などで具体化されている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・スタートカリキュラムから教科等の学びへの円滑な接続や、上巻から下巻へより探究的に学べる活動ができるよう、2年間通して学びが構造化されている。 ・具体的な活動のイメージが持てるように多様な表現方法が掲載され、発達段階や学習内容、児童の思いや願いに合わせて多様な表現方法が例示されている。 ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えられるよう、児童が身近な人々、社会及び自然と関わる姿が、写真や挿絵で多様に示されている。</p>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・他教科との関連、地域との関連、中学年以降の理科等の教科につながるイメージができるよう、様々な活動例を写真やイラスト、教科のマーク等で例示している。</p>		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「ほんとうのおおきさいきものずかん」「かつどうべんりてちょう」など豊富な資料が掲載され、二次元コードによるコンテンツも大幅に拡充されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・小単元名、本文、手洗いマーク、やくそくなどをすべての単元で紙面の同じ位置に配置しており、分かりやすく配慮されている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 生活科 】

書名 項目	たのしいせいかつ		4 大日本
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・あえてモノクロ写真を使用し、色への視点を投げかけるなど、子どもの感性を刺激し、創造性、表現力を育む紙面となっている。 ・色付けされた「課題文」と「本文」を合わせて見ることで、この時間で何を学習するのが、分かりやすく明示されている。	
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・友達との伝え合い、クラスでの話し合いの場を繰り返し取り上げ、個人の学びを集団で共有し深め合うことができるようにしている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・季節の流れに沿った大単元構成で、児童の意識にそって無理なく季節と活動を結び付けることができるようにしている。 ・二次元コードによる動画を活用し、子どもに自分の考えを書くスペースを設け、思いを言語化することで自分ごととして取り組めるように工夫されている。 ・地域で子供の学びを支えるためにいろいろな人と関わる場面や学校のことを家庭で報告する場面を適宜設け、家庭地域との連携を図ることができるよう配慮している。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・子どもの語彙力の向上や言語能力の育成を図っており、「きらきらことば」や「せいかつことば」など、人との関わりがより深まる言葉を紙面で紹介している。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・子どもの興味関心を踏まえて、特設ページ「がくしゅうどうぐぼこ」に豊富な資料が掲載されている。また、学びがより深まるためのウェブコンテンツが準備されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・振り返りでは、「きもちマーク」を設け、初めは選択制からその後、自分で表情を描くように設定し、無理のない振り返りをすることができるようになっている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 生活科 】

書名 項目	みんなとまなぶ しょうがっこうせいかつ		11 学図
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・活動内容に対してリード文では、活動がより児童自身のものとなるように、思いや願いを子供の言葉で示している。 ・活動単位が見開き1ページで完結するため、学習の見通しを持てる。また、右下には「もっと」「したい」といった次時へとつながる対話場面が示されている。	
	○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫	・活動の提示では、試行や改善を繰り返す場面を表したり、児童同士の学びあいの場面を表したりすることで、よりよい活動へと導くように工夫されている。	
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫	・ほぼ全ての単元が、時系列的に活動時期を限定せず、自由に学習時期を組み替えたり、軽重を付けて指導したりすることができる構成となっている。 ・単元末に「ふりかえろう」ページを設けている。多様な表現方法が提示されたり、記録をもとにしたまとめで振り返ったりできるように工夫されている。 ・「もっと○○したい」のページでは、これまでの活動を通じて得た自信をもとに、次への活動や課題に広げ、自身の生活につながるように工夫されている。	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・上下巻ともに、単元内で記録の書き方のヒントが示され、巻末には「学び方図かん」を配置し、他教科とのつながり、言語活動の充実が図れるように工夫されている。		
その他	<資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「ものしりノート」「ものしり図かん」で、二次元コードによる動画の提示がされ、子どもの知りたい意欲を引き出すように工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・上下巻通したキャラクターが児童の成長と合わせるように成長しながら共に学習していき、児童の思いや願いが児童の目線で書かれている。		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 生活科 】

書名 項目	せいかつ		17 教出
内容	<児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に「わくわくスイッチ」が設定されており、この単元で何を学習するのか、自分はどんなことをめあてに学習すればよいのかが分かるように工夫されている。 ・小単元「サイコロ」に、学習活動で特に発揮すると効果的な「力」を示し、見通しを持って学習に取り組むことができるように工夫されている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はてな」「かんがえまとめいろ」などの仕掛けがある「はっけんろうど」をキャラクターとともに進むことで、自然な気づき、試行錯誤ができるように工夫されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめのいっぽ」や各単元の導入ページに「単元インデックス」が明示されており、1年間の学習を見通すことができるように工夫されている。 ・各単元の最終ページの「何をかんじたかな」で、振り返りを定着させることができるように工夫されている。また、表現活動も豊富に例示している。 ・「つたえたいな」では学習内容を家庭や地域へ広げる工夫を示し、「理科・社会へのまど」等の発展的なコラムではこれからの学びにつなげるように工夫されている。 	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・上下巻末に他教科の知識や技能と関連付け、思考ツールを取り入れた「まなびのポケット」が設けられており、学びを活用する例が示されている。 		
その他	<p><資料の構成・配列や表記・表現></p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が親しみやすいキャラクターのつぶやいた言葉で学習の流れを掴んだり、ヒントを得たり、振り返ったりすることができるように工夫されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章だけでは理解が難しい内容は、二次元コードを活用した「デジタルずかん」などの動画コンテンツが設けられている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 生活科 】

<p>書名 項目</p>	<p>せいかつ たんけんたい</p>		<p>38 光村</p>
<p>内容</p>	<p><児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・単元の導入ページにはこれまでの経験を想起し、活動の見通しが持てる問いかけがあり、身近な学習材の写真がダイナミックに配置されるなど構成が工夫されている。 ・全ページに児童自らが考え、学びを深めるためのヒントが示されており、試行錯誤して何度も挑戦しながら、思いや願いを実現できるように工夫されている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・生活の学習で大切にしたい「14の力」をイラストで示し、児童の思考を深める手がかりとなるように工夫されている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・全単元において、導入、展開、振り返りで構成されており、児童の自己決定による体験と主体的な表現活動が具体的に示されている。 ・全小単元に「ふりかえろう」コーナーが設けられ、児童自らが情意面と資質・能力の面から捉えなおすことができるようになっている。 ・単元末には「たのしいまいにちにつなげよう」というページを設け、単元の学びを日常生活に生かすヒントを提示している。</p>	
	<p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・学習の流れが示されている本編と、別冊資料編「ひろがるせいかつじてん」の分冊で構成されているため、児童が自発的に確認できる資料となっている。</p>		
<p>その他</p>	<p><資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・伸び伸びと自分らしく学んでいる児童の姿が、絵本作家のかき下ろしによるユニークな文章とイラストで表現されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・左上の問いかけ、六角形で示されたヒント、右下の振り返りなど、ページ構成をパターン化して分かるようにしている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【 生活科 】

<p>書名 項目</p>	<p>わくわくせいかつ・いきいきせいかつ</p>		<p>61 啓林館</p>
<p>内容</p>	<p><児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか></p>		
	<p>○「必要感」 ・学びたくなるめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・ダイナミックな写真や美しい図鑑ページで児童の興味関心を喚起し、具体的な活動や体験を促すきっかけになるように工夫されている。 ・「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成し、その学びの深まりを紙面左上のマークで可視化することで児童自身が学習の流れを見通すことができる。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・紙面の右下に「めくり言葉」を設定し、活動が途切れることなく連続して進んでいく展開になっている。学びが連続的、発展的に深まるように工夫されている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・幼児期からの学びをつなぐ「すたあとぶっく」から、3年生へ学びをつなぐ「ステップブック」まで設定され、学びの連続性が見て分かるように工夫されている。 ・「できるかな できたかな？」のコーナーで、活動の振り返りを行うことで、自らの成長や学びの深まりを実感できるようになっている。 ・「ひろがるきもち」コーナーで、生活科での学びが日常生活に広がるようになっており、児童が自立し、生活を豊かにしようとする姿が具体的に示されている。</p>	
	<p><教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか></p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・他教科等と関連がある活動には、合科的、関連的な学習活動を示すマークが付けられている。情報モラルについて学ぶコーナーがある。</p>		
<p>その他</p>	<p><資料の構成・配列や表記・表現> ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・特別な図鑑ページ、巻末資料の学習図鑑、電子ブックデジタル図鑑という3つの図鑑で知識の習得をサポートし、気付きの質を高められるように工夫されている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・教科書紙面に、板書や机のレイアウトなど、授業中の教室環境を具体的に示し、児童が学び方を知る手掛かりとなるように配慮されている。</p>		